

9月 定例会

議 案 審 議

会期 9月5日～9月29日(25日間)

市長提出議案

● 決算案件	8件
● 予算案件	4件
● 条例案件	2件
● 人事案件	2件
● その他案件	2件

この定例会には、令和3年度各会計決算、令和4年度各会計補正予算、条例の制定・一部改正、人事案件など18議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり認定・可決・同意されました。

議案
第9号

令和4年度 旭市一般会計補正予算

1世帯に1万円、世帯主以外の
世帯員に5千円を給付

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響を受けている家計への支援策として、1世帯につき1万円と、世帯主以外の世帯員1人につき5千円の「物価高騰対策臨時特別給付金」を給付する。

問 この給付金額にした理由は。

答 物価高騰による影響は特定の方だけではなく市民全体に及んでいることから、まず支給対象を全世帯とした。給付額については、1世帯1万円と検討していたが、各家庭への影響は世帯一律ではなく、世帯員の人数により異なることから、今回の給付額とした。

問 所得制限を設けなかった理由は。

答 今回は物価高騰に対する対策ということで、全ての家庭に何らかの影響が出ていると思われるので、所得制限は設けなかった。

問 同じ住まいで世帯分離している場合と、していない場合で不公平感があるのでは。

答 その辺の調査はかなり難しく、こちらから積極的に交付するという意味では、不公平ということにはならないと考える。



申請書を返信用封筒に入れて返送

電気料金の値上げに対応

燃料価格の高騰に伴う、電気料金的大幅な値上げに対応するため、庁舎をはじめ、各公共施設等の光熱水費を増額補正。

問 補正金額の積算根拠は。

答 本年4月から6月までの実績額と7月から翌年3月までの過去の使用料を参考に見込額を算出し、予算不足額を算出した。補正額については、今後さらなる電気料金の上昇を見込み、予算不足額の1割増しで算定している。

議案
第13号

旭市漁業振興基金条例 の制定

漁業振興基金を設置

銚子沖洋上風力発電の協定の締結に伴い、千葉銚子オフショアウィンド合同会社から拠出される出捐金に対し、基金を設置し管理するための必要な事項を定めるもの。

議案
第14号

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

育児休業の取得回数制限を緩和

育児を行う職員の仕事と家庭の両立を一層容易にするため、育児休業の取得回数を「原則1回まで」のものを「原則2回まで」取得可能とする。

加えて、子の出生後8週間以内の育児休業、いわゆる「産後パパ育休」の取得回数も同様に原則2回までの取得可能とする。

